第２号様式（第６条関係）

令和８年　４月　６日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（単独、団体協働事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　　日本救急医療普及協会

代表者職・氏名　代表理事　宮本優斗

所在地　[redacted]

補助種別	☑ 単独事業補助 ☐ 団体協働事業補助	
新規・継続	☑ 新規	☐ 継続（　　年目）
事業名	BLS（一次救命処置）普及活動	
実施期間	R8年　4月　1日　～　R9年　2月28日	
確定前交付の希望	☑ 希望する	☐ 希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	なし
	実施主体	なし
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	[redacted]

	E-mail	[redacted]

≪団体の概要≫

団体名	日本救急医療普及協会
ホームページ	https://sites.google.com/view/japanemergency/
設立年月日	R７年　　１月　　１日　　設立
会員数	１８人
年会費	０円／１年間
団体の目的	日本国内では、年間約８万人が心臓突然死で亡くなっているという現状に対し、医療従事者ではない「その場に居合わせた人」ができるBLS（一次救命処置）の重要性を広めていくことが目的です。 また、救急医療は自分たちには関係ない、出来ない、という今の考えを変えていきます。 この目的を元に救命率の上昇・AEDの活用促進を促していきます。
主な活動実績	１、応急手当体験イベントの開催 日時：令和７年６月１日（日） １０時００分～１６時００分 場所：上戸田地域交流センターあいパル 内容：上戸田地域交流センター様からお声がけを頂き、ウイング祭にて一次救命処置の実技体験を行った（１０分程度） ２，一次救命処置の講演会開催 日時：令和７年８月１７日（日） １３時３０分～１６時００分 場所：上戸田地域交流センターあいパル３F研修室 内容：当協会作成のパワーポイントを用いて一次救命処置に関する座学を行い、訓練用マネキンを用いて実技を行った。 ３、戸田ふるさと祭りでの応急手当体験イベント 日にち：令和７年８月３０・３１日（２日間） 場所：戸田市役所敷地内　日本救急医療普及協会ブース 内容：一次救命処置の実技体験を行った（１０分程度）
昨年度の補助金等の援助状況	令和７年度戸田市共創のまちづくり補助金（スタートアップ運営補助）

団体ＰＲなど	当協会では、「救える命は見逃さない」という理念を達成するべく日々活動しています。 また、当協会の強みとして、若い世代が活動しているということがあります。 日本国内の課題になっている、救命率の向上、AED の使用率向上という大きな壁を若い世代の人が行うことによって、「一次救命処置は大人がやる難しいもの」というものから、誰にでも大切で身近なものにあるという「救急の日常化」を目指していきたいと考えています。

≪事業企画書≫

1　事業の目的・必要性

年間約８万人が心臓突然死で亡くなっているという現状に対し、医療従事者ではない「その場に居合わせた人」ができる BLS（一次救命処置）の重要性を広めていくことが目的です。
その為、応急手当体験イベントや救命講習活動を行うことによってこの認識を少しでも変えていき、救命率・AED 使用率の向上を目指していくために必要だと考えます。

2　事業を実施するに当たっての現状や課題

日本国内では、心臓突然死で亡くなっている人が約８万人いるという事実があります。また、この現状に付随して AED の使用率も４％程度しかありません。
この理由として当協会独自に調査した結果、「講習を受けるのがめんどくさい」「医療従事者じゃないとできなさそう」ということがありました。
これらの共通点について応急手当を難しいものと認識していたり、興味がないということが見受けられます。
この現状を変えていくために活動していきます。

3　事業の具体的内容

１，一次救命処置の講演会開催
日時：令和８年６月１４日（日）
　　７月１９日（日）
　　８月９日（日）
　　１１月１５日（日）
　　１月１７日（日）
　　２月７日（日）
　　１４時００分～１７時００分
場所：上戸田地域交流センターあいパル３F 研修室
対象：どなたでも
人数：15 名対象（応募が多数の場合は抽選）
周知：戸田市公式 SNS、当協会公式 Instagram、ホームページを予定（一ヵ月前に行う）
内容：当協会作成のパワーポイントを用いて一次救命処置に関する座学を行い、訓練用マネキンを用いて実技講習を行う。
講師：当協会会員（研修修了者）

２、戸田ふるさと祭りでの応急手当体験イベント
日にち：令和８年１０月（２日間）
場所：戸田市役所敷地内

周知：当協会公式 Instagram、ホームページを予定
内容：一次救命処置の実技体験を行う（１０分程度）
担当職員：当協会会員

３、一次救命処置手順動画の作成
日にち：令和８年８月ごろ
場所：上戸田地域交流センターあいパル
周知：当協会公式 Instagram、YouTube を予定
内容：一次救命処置手順動画作成を行う（１０分程度）
編集：委託業者様（見積書参照）
担当職員：当協会会員

4　事業の実施体制

事業主催：日本救急医療普及協会

情報等協力：特定非営利活動法人日本救命防災普及協会　様

戸田ふるさと祭り協力：戸田中央総合病院　様

資器材協力：戸田市消防本部　様

5　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
４月～６月	上戸田地域交流センター研修室の予約を行う。 一次救命処置講習の告知、募集を行う。 一次救命処置講習を行う。
７月	上戸田地域交流センター研修室の予約を行う。 一次救命処置の告知、募集を行う。 一次救命処置講習を行う。
８月９日	一次救命処置講習を行う。
１０月	戸田ふるさと祭りにて応急手当体験イベントを開催する。
８月中	一次救命処置手順解説動画を公開する。
１０～１１月	上戸田地域交流センター研修室の予約を行う。 一次救命処置講習の告知、募集を行う。 一次救命処置講習を行う。
１２～１月	上戸田地域交流センター研修室の予約を行う。 一次救命処置の告知、募集を行う。 一次救命処置講習を行う。
２月７日	一次救命処置講習を行う。

6　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

・救命講習受講終了後に確認テストを行い、一次救命処置の理解度が 80%を超えるようにする。
・受講後のアンケートで満足度 80%以上を目指す。
・応急手当体験イベントの市民人数を３００名以上を超えられるようにする。
・一次救命処置手順解説動画にて再生回数 1000 回を目指す。

7　補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

戸田市共創のまちづくり補助金によって当協会の知名度を上げていき、有償のご依頼を増やしていく。
また、協賛企業の募集を募り資金を調達する。

≪収支予算書≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	200,000	
	その他	0	
自己資金		30,163	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		0	
その他		0	
合　計		230,163	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳
	消耗品費	44,850	救命講習用資器材管理用品・コピー用紙・文房具・プリンタートナー 応急手当講習テキスト（東京法令出版） 165円×90部＝14,850円
	通信運搬費	23,800	戸田市消防本部～上戸田地域交流センター タクシー利用　片道1,700円×2回（往復）6回分 （戸田市消防本部から借用した人形、訓練用マネキン運搬の為）
	食糧費	3,000	戸田ふるさと祭りでの塩分タブレット配布 12袋（360粒）1袋250円として計算
	燃料費	6,956	ガソリン代（バイク2台分） 備品（救命講習資機材管理用品、マット、テキスト）運搬として使用 代表自宅～上戸田地域交流センター 往復12km（20回×2台） 代表自宅～戸田市消防本部 往復7km（10回×2台） 代表自宅～市役所 往復10km（6回×2台） 1L/20kmとして計算

			レギュラーガソリン 188 円
	印刷製本費	11,850	一次救命処置手順表 1000 部印刷　8,850 円 イベントポスター等の印刷 戸田市ボランティア・市民活動支援センターにて印刷 10 円×300 部＝3000 円
	使用料	64,450	上戸田地域交流センターあいパル 研修室使用料 670 円/1h×５時間＝3,350 円 プロジェクター、マイク使用料 1,000 円/1 日 各７回分 戸田ふるさと祭り 出店料 （現時点で出店料が未定の為、昨年度の出店料を計上） 30,000 円（2 日間） テーブル小 1 脚　3,000 円 椅子 2 台　2,000 円
	委託費	75,257	ポロシャツ 22,475 円 （2,172 円×10 個＋送料 750 円） 看板 7,250 円 ポケットティッシュ（パンフレット） 15,532 円 一次救命処置手順解説動画編集 30,000 円 （すべての物に事業名記載）
小　計		230,163	内訳：補助金申請額：200,000 自主財源：30,163
補助対象外経費			
小　計		0	

合　計	230, 163	